

1 経済日誌

2016年12月～2017年3月

	全 国		和歌山・大阪
12月8日	GDP 1.3%増に下方修正 内閣府が発表した7～9月期の国内総生産（GDP）改定値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.3%増、年率換算で1.3%増となり速報値2.2%増から大幅な下方修正となった。	12月9日	次世代エネルギーパーク計画に認定 有田川町が小水力発電所など多様な再生可能エネルギーを使った「エコのまち」づくり計画が、経済産業省資源エネルギー庁の「次世代エネルギーパーク計画」に認定され、認定証が交付された。
12月14日	景況感 1年半ぶり改善 日本銀行が発表した12月の全国企業短期経済観測調査（短観）で、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数（DI）がプラス10となり、1年半ぶりに改善した。	12月22日	和歌山市に4年制大学開校 和歌山市は、小中学校の統廃合で閉校する本町小学校の跡地に、和歌山信愛女学院が4年制大学の教育学部を設置すると発表した。2019年度の開校を目指す。
12月22日	出生数初の100万人割れ 厚生労働省が発表した、2016年の人口動態統計年間推計で、出生数は98万1000人と推計された。出生数が100万人を割り込むのは、統計を取り始めた1899年以降初めて。	1月17日	国民文化祭 県内で開催 文化庁は、2021年に開催する「第36回国民文化祭」の開催地を和歌山県に内定したと発表した。国民文化祭は1986年に始まった文化の祭典で、県内での開催は初めて。
12月22日	来年度予算案 過去最大97兆円 政府は、一般会計総額を97兆4547億円とする2017年度予算案を閣議決定した。前年度予算に比べ7329億円増え、5年連続で過去最大を更新した。	1月19日	来阪外国人客 過去最高 大阪観光局は、2016年に大阪を訪れた外国人観光客数が前年比31%増の940万8千人となり、4年連続で過去最高を更新したと発表した。
1月10日	訪日客最高2403万人 国土交通相は、昨年の訪日客が約2403万9千人になったと発表した。一昨年と比べて22%増え過去最高を更新した。	2月6日	舞洲 I Rを中心に国際観光拠点を整備 大阪府・市、経済3団体は、誘致を目指す万博とI R（カジノを含む統合型リゾート施設）の会場となる夢洲を、観光・産業、物流、緑地の3ゾーンに分けて整備する構想案をまとめた。
1月17日	訪日消費 最高3.7兆円 観光庁は、2016年に日本を訪れた外国人旅行者の消費額が推計で3兆7476億円と前年に比べ7.8%増え過去最高を更新したと発表した。	2月15日	和歌山市 I R誘致を正式表明 和歌山市は、紀伊半島の観光資源を生かした和歌山型のI R（カジノを含む統合型リゾート施設）誘致を進めると正式表明した。
1月31日	求人倍率 25年ぶり水準 厚生労働省が発表した2016年の有効求人倍率は1.36倍と前年比0.16ポイント上昇し、1991年（1.40倍）以来25年ぶりの高水準となった。	3月21日	商業地伸び 大阪府が連続1位 国土交通省が発表した公示地価で、大阪府の商業地の上昇率は5.0%と昨年に続き全国1位となった。地点別の上昇率で全国1～5位を大阪市内が占めた。
2月8日	経常黒字 9年ぶり高水準 財務省が発表した2016年の国際収支速報によると、経常収支は20兆6496億円の黒字だった。前年より25.8%増え、2007年以来9年ぶりの高水準となった。	3月28日	大阪市営地下鉄 民営化決定 大阪市議会は、市営地下鉄を民営化する議案を可決し、2018年4月に新会社に移行することが決まった。公営地下鉄の民営化は全国で初めて。
3月21日	住宅地 9年ぶり上昇 国土交通省が発表した2017年1月1日時点の公示地価は、全国の住宅地が前年比0.022%プラスとなり、2008年以来9年ぶりに上昇に転じた。	3月28日	県内観光客 最多3487万人 県は、2016年の観光客動態調査の結果、県内を訪れた観光客数は約3487万人で前年を約147万1000人上回り、過去最多になったと発表した。

2 地域開発のうごき

2016年12月～2017年3月

和歌山県内

12月9日 有田川町にメガソーラー

韓国のハンファグループによるメガソーラーが、有田川町に進出することが決まった。2018年4月から営業運転を始める計画で、発電規模は16メガ・ワットと県内3番目の規模になる見通し。

12月19日 新宮市の文化複合施設 基本コンセプト決まる

新宮市が建設予定の文化複合施設について、管理運営検討委員会は、周辺自治体も含んだ文化芸術の拠点や熊野文化をはぐくむ複合施設とすることなどが盛り込まれた基本計画を決めた。

12月19日 第二阪和国道 来春全線開通

近畿地方整備局浪速国道事務所は、県北部と大阪府南部を結ぶ第二阪和国道について、淡輪ランプから平井ランプまでの7.6キロの本線を、2017年春に全線開通させると発表した。

1月13日 京奈和道 岩出根来 I C - 和歌山 J C T 間 3月開通

国土交通省和歌山河川国道事務所は、京奈和道の岩出根来インターチェンジ（I C）-和歌山ジャンクション（J C T）間の6.5キロが、3月18日に開通すると発表した。

1月21日 みなべ町で津波避難センター起工

みなべ町が同町気佐藤に建設する「津波避難センター」の起工式が行われた。約500人の収容を想定したビル型避難施設で、9月末の完成を予定。

1月25日 JR和歌山駅前に「医・食・住」が集結する高層ビル建設へ

和歌山市の都市計画事業の一環として、JR和歌山駅前の友田町4丁目地区で進めている大規模な再開発事業の概要が発表された。地上20階で商業、医療、共同住宅、駐車場の複合施設。

2月9日 鍋谷峠道路が4月1日開通

国土交通省近畿地方整備局は、かつらぎ町と大阪府和泉市を結ぶ国道480号線「鍋谷峠道路」（延長4.1キロのうち3.7キロはトンネル区間）が4月1日に開通すると発表した。

2月19日 印南町 役場庁舎が完成

南海トラフ大地震の津波対策で、印南町が同町印南の海拔約30メートルの高台に建設をしていた役場庁舎の完成式が行われた。自治体庁舎の高台移転は県内2例目、4月から業務を開始。

3月10日 和歌山市駅ビルオフィス棟が竣工

南海電鉄は、和歌山市駅隣接地で建設を進めてきたオフィス棟「南海和歌山市駅ビル」が15日に竣工すると発表した。南海トラフ大地震などの自然災害も想定した高い耐震性が特徴。

3月19日 新宮市新庁舎が完成

新宮市が旧庁舎跡地に建設を進めていた、新庁舎の完成式が行われた。旧本庁舎と分庁舎5カ所に分散していた各部署を集約するとともに、防災拠点としての機能を強化した。

3 地域開発のうごき

2016年12月～2017年3月

大阪府内

12月14日 淀川左岸線延伸 事業化へ手続き

国土交通省は、2017年度予算にかかわる有料道路事業をめぐり、阪神高速淀川左岸線の延伸部（大阪市－門真市、8.7キロ）の事業化に向けた手続きに入ったと発表した。

12月20日 JR京都線 茨木－摂津富田駅間の新駅 2018年3月開業へ

JR西日本と茨木市は、JR京都線の茨木－摂津富田駅間の新駅を2018年3月に開業すると発表した。新駅は茨木駅から東へ2キロメートルの位置に設置する。

1月10日 阪神電鉄 カプセルホテルを展開

阪神電鉄は、簡易型のホテル事業に参画し、今秋に大阪市福島区に第1号店となる同社直営のホテル「ファーストキャビン阪神西梅田（仮称）」を開業すると発表した。

2月2日 あべの再開発 損失1961億円

大阪市は、1976年着手の「阿倍野再開発事業」について、事業の長期化や経済社会情勢の変化等により、事業の損失は最終的に1961億円に上るとの検証報告書を発表した。

2月8日 中之島に4機能拠点

大阪府と大阪市は、同市北区中之島4丁目の市有地で文化、芸術、学術、医学の知的資源や人材が集積する発信拠点を整備する「中之島アゴラ構想」の基本方針案をまとめた。

2月9日 構想34年 新美術館建設へ

大阪市は、同市北区中之島の市有地に2021年度中に開館を目指す新美術館の設計業者を決めたと発表した。2018年度着工予定で、1983年の構想から34年を経て実現に動き出す。

2月21日 南海電鉄 堺東駅前の「ジョルノビル」の除却工事に着手

堺東駅南地区再開発は、同地区の再開発ビル「ジョルノビル」の除却工事に着手した。地下2階地上24階建て、商業・住宅・駐車場の機能で構成、2020年度末の完成を目指す。

3月1日 「ららぽーと」堺進出

三井不動産は、堺市美原区に大型ショッピングセンターを開発する方針であることがわかった。市の開発許可を受けたうえで、2019年度に着工し、2022年の開業を目指す。

3月8日 JR環状線・新今宮駅前に都市型ホテル

大阪市は、JR環状線・新今宮駅北側の市有地に宿泊施設を誘致する開発事業予定者に、星野リゾート（長野県軽井沢町）の子会社・ミナミホテルマネジメントを決定した。

3月25日 最先端の専門病院「大阪国際がんセンター」開院

最先端のがん治療を行う、西日本最大規模のがん専門病院「大阪国際がんセンター」が大阪市中央区で開院した。この病院は、府立成人病センターの老朽化に伴い移転新築された。

4 関西国際空港

2016年12月～2017年3月

関西国際空港

12月8日 関西エアポート 第1期 期末決算は増収増益

関西エアポートは、2015年12月から2016年9月までの第1期会計年度において、営業収益は891億円、経常利益は115億円、当期純利益は75億円となったと発表した。

12月14日 地球温暖化防止を目指す空港に認定

関西エアポートは、Airports Council International (ACI：国際空港評議会) から関空及び大阪国際空港が、地球温暖化防止を目指す空港として認定されたと発表した。

12月16日 関空国際線旅客 年末年始7%増を予想

関西エアポートは、年末年始(12月22日～1月3日)の国際線の旅客数を約70万2千人とする予想を発表した。1日平均は前年比7%増の5万4千人で、年末年始としては過去最高。

12月22日 新ターミナルビル 1月28日開業

関西エアポートは、関空に新設する格安航空会社(LCC)の国際線専用となる新しいターミナルビル「第2ターミナルビル(国際線)」を2017年1月28日に開業すると発表した。

1月10日 関空-奄美大島線を就航

バニラエアは、関空-奄美大島線を3月26日よりデイリー便で就航すると発表した。関空として奄美大島への路線は、1998年以来約19年ぶりの復活路線となる。

1月11日 関空出入国 最多1851万人

大阪入国管理局は、昨年1年間の関空での出入国者数は過去最多の1851万9080人だったと発表した。このうち入国外国人は609万300人で開港以来初めて600万人を突破した。

1月25日 関空旅客数が過去最高を更新

関西エアポートは、関空の2016年の総旅客数が前年比9%増の2523万人、国際線旅客数は15%増の1876万人で、それぞれ過去最高を更新したと発表した。

1月26日 関空-ウラジオストク線を就航

関西エアポートは、ロシアの大手航空会社S7航空が関空-ウラジオストク線を4月28日より週2便で就航すると発表した。関空を発着するロシア便は2008年夏以来、約9年ぶりとなる。

2月10日 関空-ホノルル線を就航

マレーシアの格安航空会社のエアアジア・エックスは、関空-ホノルル線を6月28日より週4便で就航すると発表した。日本からハワイへの直行便は格安航空会社としては初めて。

3月23日 関空橋税 5年延長案を可決

泉佐野市議会は、関空と対岸を結ぶ連絡橋の通行車両に課している「空港連絡橋利用税」について、2018年3月までの徴収期間をさらに5年間延長する条例改正案を可決した。